



教育の町、開成

開成町長 露木 順一

町民の皆さま、こんにちは！開成町長の露木順一です。先月7日、執行されました開成町長選挙で当選させていただきました。4期目となります。引き続き、誠心誠意、心を込めて町政に取り組みます。なにとぞ、ご協力をお願いいたします。

平成17年（2005年）2月1日、町制施行50周年の記念式典を行いました。昭和30年（1955年）、酒田村と吉田島村が一緒になり、開成町が誕生しました。人口わずか4600人。二つの村で運営していた小学校の名前が町の名前となりました。開成町と教育は深い絆で結ばれていることを示しています。開成町ができて半世紀を記念する最大の取り組みは、かやぶき屋根の古民家、瀬戸屋敷の再生でした。土地と家屋敷、すべてを瀬戸家よりご寄付いただきました。「みんなの我が家」を合言葉に訪れた皆さんがほっとできる空間をご用意しようとなりました。5月に開園式を行うことができました。町婦人会の運営主体によるひなまつりをはじめ、多くの皆さまにご利用いただいています。

5年が過ぎました。早いですね。今年は、町制施行55周年となります。50周年は、瀬戸屋敷がシンボルでした。55周年を象徴する出来事といえますと、もちろん、開成南小学校の開校です。間もなく、竣工式です。2階建ての素晴らしい建物に仕上がりました。円形に飛び出した部分がユニークです。運動場も200メートルのトラックができます。大人が使っても十分な広さです。新しい小学校は、町民みんなの施設です。みんなで利用し、新たな施設の息吹を感じてください。開成町は、計画的に着実に町づくりを積み重ねてきました。その結果、人口が伸び、子どもの数が増えました。少子化が社会的な問題となっている中で驚異的な出来事です。先輩の皆さまのご努力に心より敬意を表します。

開校をきっかけに教育の町を一緒に創りましょう！町民の皆さまがどんどん学校に出かけ、子どもたちにこれまでの経験や知識を伝える機会を持ちましょう。子どもたちが学校から外に出かける機会を増やし、地域の皆さんと交流できる機会を増やしましょう。まるで町全体が学校みたいだと言われるような町を創りましょう。「開成町で育った子どもたちは、ほかと違う。たくましく思いやりがあり、勉強もスポーツも一生懸命」このように評価されるようにしたいですね。そして、開成町の子もたちが成長し、地球環境問題や、食糧危機といった人類に立ちはだかる難問を解決するため世界中で活躍する姿を夢見ます。



1,000人を超える児童で行われた、思い出に残る開成小学校運動会



瀬戸屋敷は、観光だけでなく地域住民の生涯学習や地域活動の場として幅広く活用されています。



子どもたちと地域の皆さんが交流し、地域の皆さんの経験や知識を子どもたちに伝える取り組みが始まっています。



いよいよ4月に開校する
開成南小学校